

<http://uemachi-hope.net/open-daichi/>
 プログラム詳細はWEBでチェック オープン台地 検索

Vol.4(今回)から始まった新たな企画

今回で4回目となる、上町台地のまちびらきプログラム

“オープン台地 in OSAKA”。

前回よりもさらにパワーアップして、45のプログラムが

10日間にわたり開催されました！

オープン台地 とは？

上町台地ならではの
建物や空間を一挙に開く
まちびらきプログラム
コレクション!!

新旧さまざまな文化が織り混ざる「まち」上町台地。オープン台地は、この多種多様でリアルな上町台地の生活空間を様々なまちびらきプログラムで紹介しています。

オープン台地
の
楽しみ方

上町台地でのリアルな暮らしに触れてみよう!!
普段は非公開のスポットの限定オープンもあります。

「まち」「ひと」「文化・歴史」をキーワードに45のまちびらきプログラムを実施。スタンプラリーや申込不要の当日参加プログラムもあります。上町台地の魅力をたずねてぜひお越しください。



まちあるきで新しい発見をする



そこに暮らす人とふれあう



上町台地の文化や歴史を知る

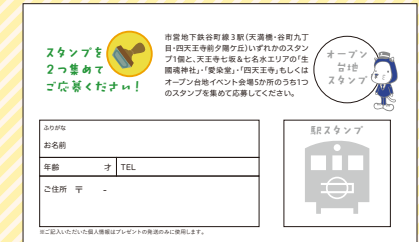
① 大阪市交通局
連携企画

今回は大阪市交通局とタイアップし、いくつかの企画を実施しました。地下鉄主要駅へのポスター掲出やパンフレット配下の他、オリジナル企画としてスタンプラリーを実施。オープン台地参加者への記念品プレゼントやプログラム⑪の地下ツアーにもご協力いただきました。

市営地下鉄で巡る
上町台地 スタンプラリー
～上町台地の名勝地、
天王寺七坂&七名水～

実施期間 平成25年11月29日(金)～12月8日(日)

応募締切 平成26年1月8日(水) 当日消印有効



スタンプラリー応募総数 **52**通

② 協賛募集
協賛15団体

今回より協賛募集を行い、協議会会員を中心に15の団体よりご協賛いただきました。また、協賛者からのプレゼント企画も3件あり、【追手門学院上町学ぶろじゅくと】では会期中、大阪城スクエアへパンフレットをご持参の方39名に、単行本『上町学』を進呈しました。



オープン台地 開催カレンダー

まちびらきプログラム										
	11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8
	fri	sat	sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
01 まちライブラリーの集い		01								
02 まちづくり活動15周年まち歩き〜どこが変わった北大江〜		02								
03 煎茶のサロン		03								
04 特別公開旧第四師団司令部庁舎(旧大阪市立博物館)			04							
05 たにまち能(山本定期能)			05							
06 国登録文化財の山本能楽堂の探検ツアー									06	
07 まっちゃまちサロン									07	
08 戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具			08					08		
09 上町台地激動の時代〜戦国時代から江戸時代の大坂をめぐる〜大阪歴史博物館見学と講演会〜									09	
10 谷町空堀探訪									10	
11 こほれワンだ! 上町台地 地下ワンダーゾーンツアー			11							
12 上町台地が生んだ漫才の父・秋田實から見える昭和大阪の笑い									12	
13 昭和の笑い展示〜漫才作家 秋田實									13	
14 からほりごはん 〜今年は“からほりごばん”を考えよう〜			14							
15 さすらいのタンDEM自転車タクシー参上			15							
16 空堀とっておきマップ vol.3					16					
17 これからの「保育」の話をしよう			17							
18 Allright!! Jelly〜空堀の働き方 みんなで仕事をする日				18						
19 空堀とっておきマップdeまちあるき								19		
20 オープン台本(漫才編)			20							
21 いるかバンド ピュアライフ (生まれてうれしい)			21							
22 大阪が生んだ広告の原点「東西屋」の歴史探訪			22							
23 空堀むすび食堂			23							
24 ぶら空堀まつり			24							
25 上町台地の生活の柄4 時代はかわる				25					25	
26 空堀商店街「酒処呑み歩き」ツアー								26		
27 上町台地モダン寺巡礼ツアー〜鉄筋コンクリ寺の美と魅力〜								27		
28 上町台地の鉄道バー「駅」特別公開				28						
29 コミュニティ・シネマ・シリーズ〜僕らはココで生きていく〜 監督とのトーク&交流会			29							
30 [展示] 織田作之助生誕100周年記念によせて			30				30			
31 四天王寺・夕陽丘パネル展〜夕陽に映える、歴史のいきづまちなみ〜			31			31				
32 上町台地と空堀商店街を巡るまち歩きツアー				32						
33 鎖国時代の大坂文化サロン				33						
34 まち歩き(夕陽丘)/建築士と歩く〜上町台地魅力探訪				34						
35 建築で見る四天王寺ツアー								35		
36 チャンバラ・忍者体験				36						
37 なにわ伝統野菜“天王寺蕪”収穫祭2013				37						
38 ジャカジャカ忍者 茶臼山大運動会				38					38	
39 上町台地オープンフェスタ! in 天王寺動物園				39						
40 慶沢園ガイドツアー&お薄と長生庵見学				40						
41 特別展「大阪の至宝-コレクターたちが愛したからもの-」の割引観覧				41			41			
42 上町台地タイムトリップ2013				42			42			
43 日常記憶地図-それぞれの生活圏-「上町台地編」					43					
44 一時間旅行-日常から一歩外へ-「上町台地編」					44					
45 オープン台地vol.4をふりかえるクロージングトーク								45		

■まちもたのしみ ■ひともたのしみ ■文化・歴史もたのしみ

01 人

まちライブラリーの集い



11/30(土) 15:00~17:00

受付開始14:30

ISまちライブラリー

(中央区内平野町2-1-2

アイエスビル3階)

定員:20名/要申込

まちライブラリーとは、カフェやギャラリー、オフィスや住宅の一角に本棚を置き、そこにメッセージ付きの本を持ち寄り交換し合う、人と人との出会いを紡ぐ活動です。この日は“大阪の食に関する本”を持参いただいて、本紹介や上町台地について楽しく語り合いました。
※持ち寄った本の一部は、まちライブラリーに寄贈いただきました。

[企画] ISまちライブラリー

企画者からのコメント

「大阪の食」は上町台地がかつて半島で、東西が海であったという地形が頭に入っていれば、その成り立ちがよく理解できることを参加者全員で共有できました。そのことにより上町台地に対する愛着がますます深まったと思います。



連携企画

02 人

まちづくり活動15周年
まち歩き
どこが変わった北大江



11/30(土) 14:00~16:00

集合時間13:30

北大江地区

▶大阪合同庁舎1号館

南玄関前歩道に集合

(中央区大手前1-5-44)

定員:30名/要申込

15年間のまちづくり活動の間に、建物が建て替わったり、道路や公園が改造されたり、歴史ある北大江地区にも色々な変化がありました。まちづくり活動メンバーの案内で、変化の裏話などを聞きながら、まちの変化や由緒ある史跡などを見て歩きました。

[主催] 北大江地区まちづくり実行委員会

[協力] (一社)近畿建設協会支援事業

企画者からのコメント

北大江地区には歴史やアートなど色々なまち歩きの企画がありますが、北大江地区まちづくり実行委員会では、活動開始以来の15年間のまちの変化を見、その裏にある物語を聞いていただくまち歩きを実施しました。地区外からの予約は9名でしたが、最終的な地区外参加者は3名に留まり、オープン台地に興味を持つ人が求める企画とは若干ギャップがあったようです。参加者からは一味違うまち歩きという評価をいただきました。ご意見などを今後の活動展開に活かしていきたいと考えています。



03 夏

煎茶のサロン



11/29(金)19:00～
11/30(土)①10:30～
②13:30～③16:30～
(各回1時間半程度)
一茶庵宗家(中央区大手通1-1-1)
定員:各回12名/要申込
参加費:3,500円(茶菓料含む)

江戸時代の中ごろ。大阪町人たちは、詩や書や絵画、陶磁器類を愛で、鑑賞し、語り合うために集いました。その集いには、格別においしい宇治茶がありました。芸術の世界に浸りながら、煎茶や玉露を味わうひととき。日本に数少ない煎茶数寄屋建築の中で、そんなひとときを体験しました。

[主催] 佃 梓央 [協力] 一茶庵 宗家

企画者からのコメント

参加者が熱心であることに驚きました。興味の対象が“上町台地”を核とした『煎茶』『文人』『江戸の町人』等と話題は多岐にわたりましたが、一茶庵“独楽”の書斎(文房)の空間で響きあい、上質なお茶の味とあいまってまさに文人たちの“煎茶サロン”が催されました。



04 夏

特別公開
旧第四師団司令部庁舎
(旧大阪市立博物館)

12/1(日)
①10:15～11:15/集合10:00
②11:45～12:45/集合11:30
③14:00～15:00/集合13:45
大阪城公園内 旧第四師団司令部庁舎(中央区大阪城1-1)
定員:各回25名/要申込

大阪城天守閣の南に隣接する重厚なヨーロッパ城郭風建築物。これは一体誰が何のために建てたのか?なぜ大阪城天守閣の隣に洋風の建物が?様々なエピソードとともに、謎を解き明かしながら建物探訪しました。普段開放されていない昭和6年に建築された旧第四師団司令部庁舎の見学ツアーです。

[企画] 上町台地マイルドHOPEゾーン協議会
[協力] 大阪市都市整備局・経済戦略局

企画者からのコメント

上町台地北端の高台に鎮座する和と洋の建物である大阪城天守閣と旧第四師団司令部庁舎。この2つの対象的な外観の建物がほぼ同時期に同じ経緯で作られた兄弟ともいえるということは、あまり知られていません。天守閣より8ヵ月早く昭和6年3月に完成した庁舎は、天守閣と同様に大阪市民の寄付により建築されました。当時、大阪城内に点在していた軍機能をこの庁舎に集約し、大阪城を市民に開放するという行政・市民と軍の考えが一致したことで実現した事業です。今回は経済戦略局から豊田時代の石垣のレクチャーもあり、充実した内容となりました。



05 夏

たにまちな能(山本定期能)



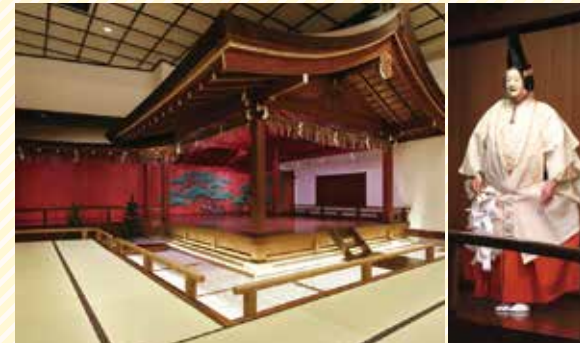
12/1(日)13:00～16:30
受付開始12:00
山本能楽堂(国登録有形文化財)
(中央区徳井町1-3-6)
要電話申込:06-6943-9454
(平日11:00-17:00)
入場券:
一般5,500円/学生3,000円
/綴り割引券(3回分)15,000円

日本を感じる事のできる落ち着いたモダンな空間で、室町時代から変わらぬ能の世界をお楽しみいただきました。
能「巻絹(まきぎぬ)」山本麗晃、能「鶴(めえ)」白頭 山本博通、狂言「瘦松」小笠原匡、ほか。

[主催] (公財)山本能楽堂

企画者からのコメント

たにまちな能は山本定期能として昭和25年から継続して開催させて頂いている定期公演であり、能2番、狂言1番、仕舞数番で構成されています。観客の大半は、能楽愛好家ですが、今回「オープン台地」に参加させて頂いた事で、今までに能楽に興味を持ちながらも能の公演に足をはこぶきっかけがなかった方に大勢お越し頂くことができました。また、上町台地に山本能楽堂があることも多くの方に頂くきっかけとなりました。



06 夏

国登録有形文化財の
山本能楽堂の探検ツアー

12/8(日)16:30～17:30
受付開始16:00
山本能楽堂(国登録有形文化財)
(中央区徳井町1-3-6)
定員:30名/要申込

国登録有形文化財の山本能楽堂の建物見学ツアー。
現在文化庁の重要建造物等公開活用事業で改修工事中ですが、その建物の裏側をご案内させていただきました。
木造三階建ての建物を次代に向けて守っていくための裏話などもお話をさせていただきました。

[企画] (公財)山本能楽堂

企画者からのコメント

山本能楽堂は、現存する大阪で一番古い能楽堂です。平成18年には「国のたから」として国登録有形文化財の登録を受けました。そして、平成23年より、文化庁のモデル事業として3年間の改修工事を行わせて頂いております。今回「オープン台地」にご参加の皆様には特別に現在工事中の楽屋部分もご覧頂きました。山本能楽堂は戦災により一度焼失し、戦後まもなく「物資はなくても人の英知を結集して」再建されました。工事中の現場見学を通して「自分たちの社交場を自分たちの力で再建する」という「大阪人」の気概を参加者の皆様に感じて頂く事ができ嬉しかったです。



07 夏

まっちゃまちサロン



12/8日 14:00～15:30

受付開始13:30

山本能楽堂(国登録有形文化財)
(中央区徳井町1-3-6)要電話申込: 06-6943-9454
(平日11:00-17:00)

参加費: 1,000円

初心者の方も気軽に楽しめる能の体験講座。約90分で、能の歴史、能面の不思議、能の謡の体験、能装束の着付けなど、もりだくさんに能についての知識を学んでいただきました。「えっ! そうだったのか!」と驚くことも多い、あっという間の一時間半でした。お抹茶とお菓子もお楽しみいただきました。

【主催】(公財)山本能楽堂

企画者からのコメント

「まっちゃまちサロン」は初心者の方を対象とした能の体験講座ですが、今回「オープン台地」に参加させて頂いた事で、祝日にも関わらず大勢の方にご参加頂く事ができました。大阪は、太閤秀吉が初めて「自ら能を舞う楽しみ」を見いだして以来、他の地域にはみることのできない独自の「嗜む文化」が形成された町ですが、山本能楽堂はこの「嗜む文化」を大阪の街に取り戻すために積極的に能の普及・啓発活動を行わせて頂いております。その活動の一環としての「まっちゃまちサロン」に大勢ご参加頂く事ができ、有り難く思っております。



09 夏

上町台地激動の時代！
戦国時代から江戸時代の大阪をめぐる
大阪歴史博物館見学と講演会

12/7日 13:30～15:30

受付開始13:00

大阪歴史博物館
(中央区大手前4-1-32)

定員: 40名/要申込

※要入館料: 大人600円/高校生・大学生400円/中学生以下無料

上町台地では戦国時代から江戸時代にかけてダイナミックに歴史が動き、今の大阪の母体となる町が生まれました。大阪歴史博物館を会場にその様子を紹介する講演会を聴講していただくとともに、大阪の町づくりにかかわる特集展示などを学芸員の解説を聞きながら見学しました。

【企画】上町台地マイルドHOPEゾーン協議会
【協力】大阪歴史博物館

企画者からのコメント

今の大阪の母体となった戦国時代の上町台地についての「講演会」に引き続き、現在開催中の「新発見資料からみる江戸時代の道頓堀」の「見学会」を大阪歴史博物館の学芸員の解説により実施しました。展示場内で解散した後も質問が相次ぐなど熱心な方が多く、歴史好きな方が上町台地について学ぶよい機会になったのではないかと思います。市外からの参加者が半分程度おられ、大阪検定のメールマガジンでの紹介で申し込んだ人も多かったようです。



08 夏

変わり兜×刀装具



11/2日～12/8日 ※図休館

9:30～17:00 (図は20:00まで)

※ただし、入館は閉館の30分前まで

大阪歴史博物館

(中央区大手前4-1-32)

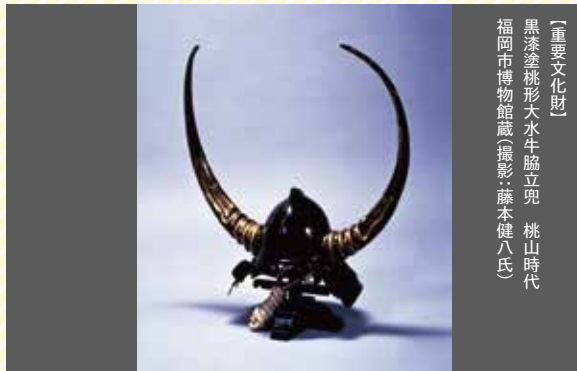
観覧料: 大人900円/高校生・大学生
630円 ※割引券使用時(4人まで)

戦国武将達の緊張感から紡ぎ出された究極のかたちとしての変わり兜、泰平の江戸時代に開花したデザイン性の強い変わり兜、極小の世界に繰り広げられた多彩なデザインの刀装具など約250点の作品を紹介し、これらの造形が持つ、現代アートをも凌駕する「力」を改めて評価しました。

【主催】大阪歴史博物館、産経新聞社
【後援】サンケイスポーツ、タ刊フジ、サンケイリビング新聞社、関西テレビ放送、ラジオ大阪

企画者からのコメント

近年人気のある戦国時代から江戸時代初めの時期を中心に変わり兜と刀装具を展示し、現代にもインパクトを与えるデザインや技術について紹介しました。各地から代表的な作品を借用することができたので、市民の方に満足いただける内容となりましたし、ファミリーやカップルの姿も多くみられ、若い世代に歴史・美術の魅力を伝えることができたことも成果だったと考えています。

【重要文化財】
黒漆塗桃形大永牛臨立兜 桃山時代
福岡市博物館蔵(撮影: 藤本健八氏)

10 秋

谷町空畑 探訪



12/8日

11:00～16:30

谷町空庭

(中央区常盤町1-1-8)

ビルの屋上で、仲間たちと野菜を育てています。都会での暮らしに、すこし「農」の部分があるだけで、日々が憩いのあるものになり、友達との輪も広がります。来年の種まきに向けての参考にしていただこうなお話をできました。畑でとれたミントティをお出ししました。

【主催】谷町空庭(山内 美陽子)

企画者からのコメント

普段より、カフェや貸スペースとして自宅を住み開き、屋上では畑を貸し出し、仲間たちと屋上菜園づくりをしています。今回は特に屋上菜園を案内し、ビルの屋上でも十分に菜園づくりは可能であること、日々の菜園づくりについて、グループで畑をするコツなどを話しながら、屋上で採れたミントティを飲み、ゆるく滞在していただきました。また、階下の部屋にて、空庭畑部のメンバーやその他ベランダ菜園などを行っている方達でトークをしていただき、当日ふらっとこられた方まで含め、総勢20名が参加。菜園づくりのイメージがより広がる企画をすることができました。



11



上町台地
地下ワンダーゾーンツアー



12/1回10:00～12:30
集合時間10:00
▶地下鉄谷町四丁目駅9号出口 集合

定員:20名/要申込・抽選
※申込締切11月17日(日)
参加費:無料(ただし、ツアー中の移動にかかる交通費は自己負担)

台地をまるごとオープンしてしまう地下ツアー。普段は見られない谷町線沿線の地下スポットを地下鉄でめぐりました。集合の谷町四丁目駅からどこへ行くかは楽しみのミステリツアー方式!希望者は解散後に地下街でランチなどをお楽しみいただきました。

【企画】大阪市立住まい情報センター
【協力】大阪市交通局、竹岡寛文

企画者からのコメント

“地下ツアー”の第3弾で、上町台地の地下空間をまるごとオープンし、地下鉄を使ってめぐろうというプログラムです。106名の申込があり、抽選の結果19名が参加しました。谷町四丁目駅に集合し、大阪歴史博物館で地下遺構を見学した後、太閤(背割)下水で大阪のまちづくりと下水道の説明を受けました。駅へ戻り、地下鉄の正式名称や谷町線の話の話を聞きました。谷町九丁目駅では、駅の説明を受けた後、券売機や改札、駅長室を見学しました。「普段気がつかず、通り過ぎていた場所に色々な興味深いことがありました」という感想がありました。



13



昭和の笑い展示
漫才作家
秋田實



12/8回13:30～16:30
集合時間13:00

玉造稲荷神社
(中央区玉造2-3-8)
観覧料:無料

玉造稲荷神社の参集殿1階にて秋田實の漫才台本など直筆原稿を初公開するほか、漫才本、昭和初期の漫才のレコードなどをお楽しみいただきました。

展示品(一部抜粋)

- ・松竹新喜劇直筆原稿「わが家の旗日」
- ・初期のラジオ用台本いろいろ
- ・蝶々さんのディスクジョッキー用直筆原稿など

【企画】玉造稲荷神社 【協力】藤田富美恵

企画者からのコメント

参集室1階で行った当時の写真や自筆原稿、出版本、また当時の音響機器を展示しましたが、意外と観覧者が少なく、講演会と併せてプログラムに入れた方が良かったと感じています。

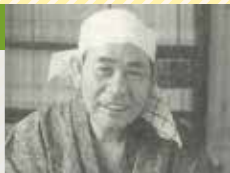


連携企画

12



上町台地が生んだ
漫才の父 秋田實から見える
昭和の笑い



12/8回13:30～16:30
受付開始13:00

玉造稲荷神社
(中央区玉造2-3-8)
定員:70名/要申込
参加費:1,000円

玉造稲荷神社には、この界隈で生まれた漫才作家 秋田 實の遺徳をしのぶ「秋田實 笑魂碑」が建っています。玉造稲荷神社の宮司 鈴木一男氏と、秋田實の長女で童話作家の藤田富美恵氏が秋田實の思い出を語り、昭和の大阪の笑いについて掘り下げました。

【主催】玉造稲荷神社

企画者からのコメント

上町台地(玉造)出身の“漫才作家・秋田實”の業績を取り上げ、しゃべくり漫才を育てた氏の心の真髄を顕正することが出来ました。又、主要新聞やNHKのニュースにて報道された為に、後の反響が大きかったです。



連携企画

14



からほりごはん
今年「からほりごはん」
を考えよう



11/30回11:30～15:00
受付開始11:00

空堀商店街界隈(中央区谷町6)
▶地下鉄松屋町駅3号出口集合
定員:10名/要申込
参加費:500円(※お買物別途実費)

空堀商店街は、ふる～くからあるお店、あたらしいお店が色々混ざった歴史ある商店街です。商店街好き案内人による商店街散策を楽しみながら、空堀での暮らしを疑似体験していただきました。“からほりごはん”の具材を各自お買いもので探してもらい、最後にみんなで食べながら品評会をしました。

【主催】からほりごはん
【協力】空堀商店街

企画者からのコメント

今年は“からほりごはん”として、参加者各自でビザの具材探しに行ってもらいました。お惣菜や和菓子、乾物など予想もしない具材の組み合わせで参加者の自由な視点のビザが出来上がりました。前回の丼と違い、参加者でシェアして試食することができるのも「パン」の魅力だと感じました。参加者のみなさんに商店街での買い物が「小売店、専門店の買いやすさ」「買い物コミュニケーション」により商店街で買い物をするきっかけや空堀が暮らしたいまちの候補になることを願っています。



15

さすらいの
タンデム自転車タクシー
参上

12/1回9:30~16:30

オープン台地

イベント実施地域内

定員:先着10名/要申込

(同時に4台まで。時間はお申し込み後、調整させていただきます)

参加費:500円(タンデム自転車
(1台1時間)の乗車料・保険込)

タンデム(2人乗り)自転車で、上町台地を走っていただきました。スタッフが同乗する自転車タクシーとして、呼ばれた場所に参上するスタイルで実施しました。イベントを巡ったり、ゆっくり観光したり、しんどさ半分・楽しさ2倍のミニ・サイクリングを体験していただきました。(走行範囲は、オープン台地イベント実施地域内)

【主催】自転車文化タウンづくりの会
【協力】大阪でタンデム自転車を楽しむ会

企画者からのコメント

大阪初、2人乗りタンデム自転車タクシーのイベントを開催し、参加者は後ろの席で、サンタに扮した前の運転手(パイロット)と一緒にペダルをこぎ、上町台地を自転車で巡りました。視覚に障がいのある人、自転車に初めて乗る83歳の女性、ベテランサイクリストなど、参加者は多彩な面々で、みな、それぞれに上町台地の魅力を体感しました。観光に、移動に、スポーツにと、タンデム自転車の可能性は広がります。



16

空堀とっておきマップ
vol.3

11/1金~12/7土

(「萌」営業時間に準ずる)

複合文化施設「萌」1階階段ホール
(中央区谷町6-5-26)

観覧料:無料

「空堀とっておきマップ」はそれぞれのとっておき空堀ネタをシェアしてみんなでつくるマップです。オープン台地開催期間中に自由に情報を書き込める場所を用意しました。

【企画】からほり倶楽部
【協力】萌

長屋すっとくばんくねとわーく企業組合

企画者からのコメント

空堀に暮らす方、活動する方、遊びに来た方の「とっておきの空堀ネタ」を多くの人から集め、互いに情報をシェアする企画です。からほり複合文化施設「萌」の階段ホールの壁に掲示したマップに参加者が情報を書き込んだポストイットをマップに貼ってもらいました。日々少しずつ情報が増え、成果が見えやすく、また空堀を散策する方がまちを歩く際の情報収集や場所探しに利用されるなどの様子も見られました。さらに、11月30日の空堀商店街イベント「ぶら空堀ミニまつり」でも商店街にマップを掲示し、多くの情報を集めることができました。この成果は当面萌階段ホールに掲示する予定です。



17

これからの「保育」の話をしよう

これからの
「保育」の
話をしよう

11/30(土)14:00~16:00

受付開始14:00

コワーキングスペース「往来」
(中央区谷町6-5-26)

複合文化施設「萌」2階)

定員:10名

参加費:300円(お茶&お菓子)

「こども」の問題が気になっている…教育や福祉全般にアンテナをはっている…子育て真っ最中…。さまざまな方が「保育」を語らい、いま何ができるか、何が問題かなど、色んな話題についておしゃべりする企画です。

【主催】檣畑 敦子

企画者からのコメント

参加者が0だったので、次回はもっと告知に力を入れたいと思います。テーマが目を引きものではなかったかとも思いますので、次回はもう少しイベントに沿ったテーマにしようと思います。貴重な機会をいただきありがとうございました。



18

Alright! Jelly~
空堀的働き方
「みんなで仕事をする日」

12/2(月)11:00~22:00

(随時参加OK)

コワーキングスペース「往来」
(中央区谷町6-5-26)

複合文化施設「萌」2階)

「コワーキングスペース」ってご存知ですか？交流・仲間作り・意見交換などを目的に、違う会社・業種の人が1つの場所に集まって「顔の見える距離」で一緒に仕事をするための場所のことです。この日は特別に無料開放！空堀で違う会社・業種の人と一緒に仕事をするために会社や自宅を飛び出してお越しいただきました。

【企画】コワーキングスペース往来

企画者からのコメント

去年に引き続き、コワーキングスペースの無料開放という企画で参加させていただきました。前回同様に、10名以上の方が入れ替わり立ち替わりでやって来られ、グラフィックデザイナー、まちづくり、教育、Webアプリ制作、ノンフィクション作家、編集者、ミュージシャン・司会業、派遣で働く営業職の方、正社員で働く事務職の方、建築家、ものづくり職人、などなど多様な分野の方が来られていました。お互いに名刺交換をされている場面もたくさんあり、それぞれに仕事をしながら、新しい出会いがあったり、情報交換があったりと、楽しんでいただきました。





12/7(土) 14:30～16:30
集合時間14:00
空堀商店街界隈(中央区谷町6)
▶地下鉄谷町六丁目駅4号出口 集合
定員:20名/要申込
参加費:1,000円(おみやげ付)

イベント前にみなさんからの空堀情報を集めた「空堀とっておきマップ」を作成しています。当日はこのマップをもとに、まちあるきワークショップを行いました。生の情報より、新たな空堀の暮らし方や過ごし方を発見しに出かけました。

【主催】からほり倶楽部
【協力】萌

長屋すっとくばんくねっとわーく企業組合

企画者からのコメント

「空堀とっておきマップ」の情報を用いて、実際にまちを歩いてみる企画。歩くルートは、とっておき情報を元に、参加者とスタッフが話し合って当日に決めました。特に「パン」に関するオススメ情報が多かったので、空堀にあるコーヒー専門店でコーヒー講座をしてもらい、パンの試食会を同時に行いました。まちあるきでは、普段通らない道を歩いてみたり、気になっているけれど入れないお店や、路地奥にある小さなお店、など色々な場所めぐりと、パン屋さんめぐりを行いました。「まちの人との関わりを持ちながら」のまちあるきというものが出来て、非常に良い経験になりました。



11/30(土) 11:00～17:00
DRILL&DRILL
(中央区谷町6-17-12)
観覧料:無料

大阪の文化である「漫才」。実はその漫才には、台本が存在するものがあります。普段はオープンにしない、現役の漫才作家、また台本勉強中の人たちが手がける台本、漫才作家・秋田實の手書き台本も多数並べました。その他、アニメーション漫才動画を上演しました。

【企画】藤田 曜
【協力】藤田 富美恵

企画者からのコメント

漫才には台本の存在するものがあるということを、来ていただいた方に知ってもらった事が一番の成果です。反省点は、メインストリートから見えにくい場所にあるため、事前にチラシ配りをもっとするべきだったと思いました。



11/30(土) 12:30～15:00
受付開始12:00
蔵(中央区谷町6-17-13)
定員:25名/要申込

寝たきりで、障がいの重い方達の、生きる輝きに満ちたコンサート。常に“今”を全力で生きている、裏表のない彼らの笑顔は、まぶしいくらいに光り輝いています。生きていることの素晴らしさを思い出させてくれます。

【企画】デーセンターいるか

企画者からのコメント

普段センターで行っている昼の会(音楽の時間)の雰囲気を出せる限り忠実に再現することにつとめました。そうすることが一番、参加者の皆さんの心に響くのではないかと思ったからです。実際、ライブが始まり、2～3曲歌った頃には、全身全霊でうたう利用者さんたちの姿に涙する方が現れました。「生きていることの素晴らしさ」、「生まれてこれた喜び」を利用者さんたちを通じ来場者の方々と共有することができたことは、大変意義のあることだったと感じています。



11/29(金) 14:00～16:00
集合時間13:30
東西屋▶最初の開催場所である「(有)東西屋事務所」に集合
(中央区上本町西2-6-21)
定員:15名/要申込
参加費:500円

商いの町・大阪ならではの「東西屋」を、文献・資料を参照しながら中興の祖である丹波屋九里丸が活動の拠点とした空堀界隈、明治期に活躍したとされる二代目・勇亀の墓石が今なお残る、真田山・興徳寺まで散策しました。
ナビゲーター:林幸治郎(東西屋・ちんどん通信社の代表で、ちんどん界のカリスマ)

【主催】(有)東西屋・ちんどん通信社

企画者からのコメント

初のプログラム参加～題して「大阪が生んだ広告の原点」「東西屋」の歴史探訪なる講演会と町歩きです。「東西屋」は、ちんどん屋の旧称、その誕生は大阪といわれており、上町周辺は明治期に活躍した、中興の祖であります。丹波屋九里丸と勇亀の活動拠点でもありました。この道30年、ちんどん界のカリスマ・林幸治郎親方によります、解説と貴重な資料・映像の公開。さらに「2代目勇亀」のものと思われる墓標を見学し、真田山・興徳寺までの散策。平日にもかかわらず参加いただいた方々も、他では見聞きすることのできない、貴重な話に、満足のご様子でした。



23

空堀むすび食堂



11/30(土) 18:00~21:30
(随時参加OK)

かんで・かいご塾 胡桃
(中央区上本町西3-3-26)
※会場の情報など最新情報はこちら
<http://daichinaikai.jimdo.com/>

「空堀むすび食堂」は、不定期に空堀商店街に現れる交流の場です(本物の食堂ではありません)。この日は、空堀界隈で開催される様々なイベントのスタッフ募集などの情報が集まります。当日は多様な方にお立ち寄りいただきました。

[企画] 梅山 晃佑

企画者からのコメント

情報交換や交流の場として企画したこの「空堀むすび食堂」。当日も近所の方から遠方の方、子供からおじいちゃんまで、昔から住んでいる方から最近引っ越してきた方、告知を見て来てくれた方から通りすがりの方まで、雑多な方々に入れ替わり立ち替わりで総勢約50名ほど集まっていただきました。当日はこの空堀界隈のイベント情報やボランティアスタッフ募集の情報の提供や、商店街のお店情報などを交換したり、初めてそこで出会った人同士でしゃべってもらったりしたことで、この空堀むすび食堂でたくさんの縁をつくることができました。



25

上町台地の生活の柄4
時代はかわる

12/1回・12/8回
13:00~18:00
苦楽庵(中央区瓦屋町1-6-4)

例年通り自宅の長屋を特別に公開、実際の生活の場を見せるという試みです。4年目の公開であるので仮に毎回訪れている方がいればその変化を見ていただけたと思います。

[企画] 小辻 昌平(直木三十五記念館)

企画者からのコメント

今回で4回目になる自宅の開放です。今回の開放で重要視したことは来訪者とのコミュニケーションと偶然性でした。実際に意図せずにお土産として持ち込まれたもので簡単な宴会を実施し、別途に来られた方を交えた交流が実施されたことは非常に特徴的でした。繰り返し実施している効用が見られ、昨年あるいは一昨年に来たかったが、予定があわず三年越しでやっと来ることができたという感想もいただきました。



連携企画

24

ぶら空堀まつり



11/30(土) 10:00~
(終了時間はお店ごとに異なります)

空堀商店街界隈(中央区谷町6)
参加費:無料
※商店街で買い物する場合は実費

歴史あるまちなのに、新しさを感じる商店街です。この日限定の新しい商品や企画、お得商品などが盛りだくさん。近隣学校の美術部や作家によるアーケードのアート展示も!!

[主催] 空堀商店街

企画者からのコメント

北大江地区には歴史やアートなど色々なまち歩き企画がありますが、北大江地区まちづくり実行委員会では、活動開始以来の15年間のまちの変化を見、その裏にある物語を聞いていただくまち歩きを実施しました。地区外からの予約は9名でしたが、最終的な地区外参加者は3名に留まり、オープン台地に興味を持つ人が求める企画とは若干ギャップがあったようです。参加者からは一味違うまち歩きという評価をいただきました。ご意見などを今後の活動展開に活かしていきたいと考えています。



連携企画

26

空堀商店街
「酒処呑み歩き」ツアー

12/7(土) 17:30~19:30
空堀商店街(中央区谷町6)
▶地下鉄谷町六丁目駅4号出口集合

定員:10名/要申込
※申込締切11月29日(金)17時
参加費:3,000円【要事前振込】
(各店1杯目とお通し代)

都心部にありながら、古い街並みが残る空堀商店街。夜は昼と違った一面を見ることができます。今回は、同商店街をよく知っているガイドさんが推薦する酒処を3軒はしごします。夜の空堀ワールドをお楽しみいただきました。

[主催] 大阪商工会議所
[協力] CASEまちづくり研究所、からほりごはん

企画者からのコメント

空堀商店街にある地元の飲食店(寿司店、立ち飲み屋、夜カフェの3カ所)で飲食を楽しむとともに、ガイドによる案内で路地や商店街を散策しました。参加者からは「リーズナブルな料金で美味しい酒肴を楽しむことができた上、店主との距離が近いことから会話も弾み、商店街の良さを感じた」など好評の声が多数挙がりました。ガイドの松富さんの盛り上げが素晴らしく、参加者間同士がすぐに打ち解けた雰囲気となりました。立ち飲み屋では、数少ない大阪府内の蔵元の日本酒をいただき、大阪を巡る話題でも盛り上がりしました。





大阪モダン寺巡礼
12/7(土) 10:00～13:00
集合時間9:50
上町台地全域
▶地下鉄谷町九丁目駅1号出口 集合
定員: 20名
参加費: 1,000円(資料費とガイド代)

木造だけが寺じゃない!

大阪・上町台地にある、知られざる、素晴らしい「モダン寺」(近代寺、コンクリート寺、マンション寺、イエ寺)を巡りました。

【主催】むつとし
【協力】NPOまちらぼ

企画者からのコメント

今回は應典院さん、稱念寺さん、源聖寺さん、心光寺さん、良運院さんと、下寺町に立地する5つの浄土宗寺院を巡りました。とくに素晴らしかったのが、稱念寺の霞間弘淳住職のお言葉。「その時代その時代の最先端の建築技術で建てられたのが仏教寺院ですから。現在の寺院も、現在の最先端の技術で建てた方がいいと思って、それで鉄筋コンクリート建築です」というもの。仏教は社会や時代の流れにあわせて生生流転していく。建築様式だって当然、変容していく。それが「生きている宗教」ということに他ならない・・・ということなんでしょう。とても頷かされるものがあり、感動しました。



12/1回(各回15分程度)
①15:00 集合 ②15:20 集合
③15:40 集合 ④16:00 集合
⑤16:20 集合 ⑥16:40 集合
鉄道バー「駅」(天王寺区上本町6-3-31/ハイハイタウン地下1階)
定員: 各回10名/要申込

普段はバーとして営業しているため、なかなか気楽に入ることができない上本町にある鉄道バー「駅」の上町の鉄道コレクションなどをオープン台地当日無料で見学し、上町台地と鉄道とのつながりを知る機会となりました。

【企画】ハッチポッチの会(奥村武資)
【協力】鉄道バー「駅」(駅長)

企画者からのコメント

「バー」という名前がついていて、鉄道(上町台地)に興味があるのに、中々足を踏み入れたことがないという人が気軽に参加でき、場と人をつなぐことができました。上町台地を走る鉄道の歴史も探ることができました。



11/30(土)
①15:30～16:30/集合15:15
②20:30～21:30/集合20:15
應典院 本堂ホール
(天王寺区下寺町1-1-27)
定員: 各回100名
参加費: 無料(上映鑑賞代
1,200円は別途必要です)

震災からおよそ2年の歳月を追い続ける復興リアルドキュメンタリーFILM「僕らはココで生きていく」。復興食堂とそこから広がる人々の「生きていく」決意の映画を製作した下山和也監督のトークと交流会。「アナタには、誇れる仲間がいるか。愛する故郷があるか」をテーマに語り合いました。

【企画】應典院寺町倶楽部
【共催】NPO法人 泉州てらこや

企画者からのコメント

「いわて三陸復興食堂」の人々の様子を描いた映画を撮影した下山和也監督を囲み「故郷を愛すること」「地域を大切にすること」の日常の大切さをうかがったのち、参加者の皆さんたちと交流の機会を持ちました。



11/29(金)～12/8(日)
※12/2(日)は休館
平日10:00～19:00
土日10:00～17:00
大阪市立天王寺図書館
閲覧室(天王寺区上之宮町4-47)
観覧料: 無料

今年は、織田作之助生誕100周年に当たることから、彼がこよなく愛した「わが町天王寺」を中心にその足跡を訪ね、地元が生んだこの文士を紹介し親しみを持っていただくことを目的とし、関連資料と著作の展示を行いました。

【企画】天王寺歴史散策ボランティア・クラブ
【協力】大阪市立天王寺図書館

企画者からのコメント

毎年秋に天王寺図書館でわが町天王寺縁の展示を行っています。今回は「オープン台地」に参加させていただいた効果でしょうか、図書館のいつもの利用者の方のみならず、より幅の広い方に展示をご覧いただけた手ごたえを感じることができました。



31



四天王寺・夕陽丘パネル展
—夕陽に映える、
歴史のいきづくまちなみ—



11/29(金)～12/6(金)
平日9:00～17:30
※土・日・祝は休館
天王寺区役所 1階ロビー
(天王寺区真法院町20-33)
観覧料:無料

四天王寺参道や風情ある寺町の七坂など、上町台地には魅力あるまちなみが多くあります。そんなまちなみの今と昔を見比べる写真を展示し、変わるまち、変わらないまちの風景を楽しんでいただきました。上町台地マイルドHOPEゾーン事業の紹介も行いました。

〔企画〕上町台地マイルドHOPEゾーン協議会
〔協力〕天王寺区役所

企画者からのコメント

四天王寺参道や寺町の七坂など、上町台地にある魅力的なまちなみが今と昔でどう変わったか、写真で見比べるパネル展を行いました。寺社の門・塀などは面影がそのまま残っている一方で、その周囲にはビルが立ち並び、時代と共に大きく変化していることがよくわかりました。他に、協議会の「まちなみ修景補助事業」も紹介しました。展示会場で行ったアンケートでは、昔ながらのまちなみを保全することは大切だと思う、という回答をたくさんいただきました。



33



鎖国時代の大坂文化サロン



11/30(土)13:30～15:30
受付開始13:00
清寿院
(天王寺区勝山2-6-15)
定員:15名/要申込

清寿院(関帝廟)では、大坂の文化人木村兼葎堂との交流が盛んであったと、兼葎堂日記に綴られています。鎖国により文化が入って来るのが少なかったため、中国(開山禅師中国僧)からの文化を新鮮に取り入れ、「画会」「雅会」が開催されました。江戸期大坂の文化サロンを紹介しました。

〔企画〕清寿院

企画者からのコメント

清寿院を舞台にした大坂文化サロンを紹介。木村兼葎堂との交流。現在の「なんでも鑑定団」と同じように「画会」に文人・画家・書家等が集まって作品などを批評しあった会が開かれました。その中で江田世恭は「富八極め」と呼ばれ、今の中島誠之助です。優れた目利きです。時代を越えて、昔も今も変わらずに有る事に驚かれていました。「絵本三国志」(天明8年)の和綴じ本には皆さん興味を持たれていました。特に「赤壁の戦い」は「レッドクリフ」の映画を見られた方々には印象深く見ておられました。



連携企画

32



上町台地と空堀商店街を巡る
まち歩きツアー



12/1(日)10:00～13:00
上町台地(見学先は下記参照)
▶地下鉄四天王寺前駅 5号出口集合
定員:18名/要申込・抽選
参加費:1,000円(保険代含む)

なにわなんでも大阪検定1級合格者が、歴史的名所が多く残る上町台地と活気ある空堀商店街を案内しました。勝鬘院、大江神社、生国魂神社、高津宮などを見学しました。
※本プログラムは大阪商工会議所「大阪あるこ」との合同企画です。

〔主催〕大阪商工会議所

企画者からのコメント

勝鬘院、大江神社、吉祥寺、生国魂神社、高津宮、近松門左衛門の墓など上町台地にある史跡や建築物を大阪検定1級合格者の嶋中明彦さんに案内していただきながら散策しました。まち歩きの最後には、空堀商店街に立ち寄り、ガイドから特色のある店の紹介などを行いました。短時間で効率よく多くの旧蹟を巡ることができたことから参加者の満足度も高かったです。



34



まち歩き(夕陽丘)
建築士と歩く
上町台地魅力探訪



11/30(土)13:00～16:00
集合時間12:40
四天王寺夕陽丘地区
▶四天王寺西門前に集合
(天王寺区四天王寺1-11)
定員:15名/要申込

建築士が会員の大阪府建築士会では、まちの魅力を高める景観まちづくりに取り組んでいます。イベントは、参加者と建築士が夕陽丘をまち歩きし、楽しみながらまちの資源を調べ、よりまちの魅力を増すために、ワークショップ(意見交換)でワイワイガヤガヤと話し合いました。

〔企画〕(公社)大阪府建築士会

企画者からのコメント

大阪府建築士会による初めての企画です。四天王寺夕陽丘地区の見どころを一般参加者と建築士の計20名がまち歩きを行い、景観まちづくりに活用できる景観「18景」選びを行いました。3グループに分け四天王寺から出発し、参道、口縄坂、家隆塚、愛染堂、清水坂等を巡った後、近くの会場で各自が撮った写真とその魅力を添えて発表し、意見交換をしました。夕陽丘ならではの魅力的景観が撮れ、各参加者の景観に対する多様な見方やこだわりがあり、最終選定では優秀つけ難く18景ではとても収まりきれず、楽しい有意義なワークショップとなりました。



35 扉

建築で見る四天王寺ツアー



12/7(土)13:30～15:00
受付開始13:15
和宗総本山 四天王寺
▶四天王寺西門前に集合
(天王寺区四天王寺1-11-18)
定員:20名/要申込
参加費:600円(拝観料)

約11万㎡の寺域に数十棟の建物が建つ『和宗総本山 四天王寺』。中でも徳川秀忠が再建した『五智光院』など江戸時代初期の建物のいく棟かは、重要文化財に指定されています。ツアーではこれらの建物を中心にご案内しました。日頃は非公開の部分も特別に見学していただきました。

【企画】上町台地マイルドHOPEゾーン協議会
【協力】和宗総本山 四天王寺

企画者からのコメント

聖徳太子による建立という壮大な歴史をもつ『四天王寺』を、今回は視点を少し変え、建築という切り口で案内しました。四天王寺の僧侶の方に建築形式や屋根を支える垂木や組物について、とても詳しく解説していただき、その後、重要文化財の建物を中心に見学していただきました。本坊庭園は今まさに紅葉の盛りでとても美しく、市街地の中とは思えない別世界でした。参加者の皆様には、大阪の持つ奥深い、魅力ある文化や歴史を感じていただけたのではないかと思います。



36 扉

チャンバラ・忍者体験



11/30(土)
①**12:00～**/集合時間11:30
②**14:00～**/集合時間13:30
天王寺公園・茶白山
(天王寺区茶白山町1-108)
定員:各回20名/要申込
参加費:無料(※ただし、天王寺公園入園料必要・パンフレットの割引券をご利用ください)

大坂の陣からまもなく400年。当時の激戦の跡地、茶白山で、浪花SANADA十勇士のメンバーによる侍・忍者ショーを観てもらい、その後に侍・忍者に挑戦してもらいました。衣装を着て効果音もついて、侍・忍者になりきっていただきたかったです。

【企画】(一社)日本殺陣道協会
【協力】ひまわりカンパニー

企画者からのコメント

会場が公園の奥で、一般の人になかなか足を運んでもらえず参加者が少なかったのが残念でした。参加してくれた子供たちはとても喜んでもらったようで良かったです。



37 扉

連携企画

なにわ伝統野菜
”天王寺蕪”収穫祭2013

11/30(土)
11:00～14:00
天王寺公園内(天王寺区茶白山町)
参加費:無料(※ただし、天王寺公園入園料必要)

【天王寺蕪の試食】なにわ伝統野菜の“天王寺蕪”を調理し、ご来場の皆様にご試食いただきました。

【なにわ伝統野菜関連商品の販売】なにわ伝統野菜関連商品販売。その他、会場周辺で様々なイベントを実施しました。

【主催】天王寺動植物公園事務所、天王寺区役所
【協力】阿倍野区役所、Welcomingアベノ・天王寺キャンペン事務局、天王寺蕪の会、大阪商工会議所南支部ほか

企画者からのコメント

今年の天王寺蕪収穫祭は天候にも恵まれ、たくさんの皆さんが来てくれました。「天王寺蕪の生姜スープ」も早くに無くなり、また、天王寺蕪バーガーも売り切れるほどのご好評をいただきました。モンゴルゲルの中では難波りんごさんの天王寺蕪のお話もゆっくり聞く事ができ、水上ステージでは「ぱあていーあにまる」の司会で、文の里中学校の吹奏楽演奏にキャラクター大集合、来年デビュー予定のHOLICの歌も可愛かったし、真田十勇士もカッコよく、多くのみなさんに美味しい、楽しい時間を過ごしていただきました。



38 扉

連携企画

ジャカジャカ忍者
茶白山大運動会

12/1(日)・12/8(日)
①**11:00～** ②**13:00～**
③**15:00～**(各回1時間程度)
受付開始 各回30分前
天王寺公園(天王寺区茶白山町1-108)
定員:各回8チーム(1チーム2～5名)/要申込
参加費:3,000円(3人分までの忍者衣装、道具費用を含む)(※ただし、天王寺公園入園料必要)

上町台地の歴史ある場所「茶白山」で繰り上げられる忍者大運動会!大坂の忍者『ジャカジャカ忍者』からみんなに指令がくだされるぞ!みんなは忍者として、待ち構える5つの関所を突破し見事任務を完了するでござる!

【主催】(一社)日本殺陣道協会
【協力】ハイ・パートナーズ(株)

企画者からのコメント

2週にわたって実施しましたが、スタッフの手配などで、少し厳しかったです。次回は1日にまとめてやる方向で考えています。茶白山の場所がわかりづらいようで、迷って時間ギリギリに何組かが到着。結果的には、子供たちはもちろん、付き添いの保護者も一緒になって喜んでくれた笑顔が印象的でした。



39



上町台地 オープンフェスタ！ in 天王寺動物園



11/30(土) 14:00～15:30
天王寺動物園 白雪姫時計台前
(天王寺区茶臼山町1-108)
定員: **50名**
参加費: 無料(※ただし、天王寺動物園入園料必要・パンフレットの割引券をご利用ください)

上町台地を中心としたゆるキャラ®たちが天王寺動物園の園内でパフォーマンスを披露しました。

【企画】天王寺動物園公事務所

企画者からのコメント

天王寺動物園内の白雪姫時計台は子供達で一杯でした。上町台地に関連するゆるキャラはもとより、地域からたくさんのゆるキャラが集合して宣伝できたと思います。



40



慶沢園ガイドツアー & お薄と長生庵見学



11/30(土)
①**11:00～**/集合時間10:30
②**14:00～**/集合時間13:30
天王寺公園内 慶沢園・長生庵
(天王寺区茶臼山町1-108)
定員: 各回**20名**/要申込
参加費: 無料(※ただし、天王寺公園入園料必要)

京都の名庭園師「小川治兵衛」作の「慶沢園」のガイドツアーに加え、園内の茶室「長生庵」の特別公開。庭園散策のあとは、長生庵で抹茶のサービスも。

【企画】なにわ人形芝居フェスティバル
【協力】アーツ・エンターテインメント学院

企画者からのコメント

昨年に引き続き、とても好評の企画で、希望者がすぐに定員に達してしまいました。今回の反省点としては、集合時間をツアー開始の30分前に設定したため、寒い中庭園で30分待たせてしまい、お1人から不満を頂戴しました。大人が対象なので、開始時間に遅れないように5分前には集合場所に集まってくださいと、お知らせした方が良かったと思います。ツアーも通常1時間程度のところを今回は30分位にお願いしたので次回はお茶の用意をツアー開始後50分位に変更した方が良いでしょう。皆さん、満足されていたように感じられました。



41



特別展「大阪の至宝」 コレクターたちが愛した たからもの」の割引観覧



10/29(火)～12/8(日)※週日は休館(ただし、11/4は開館、11/5は休館)
9:30～17:00※入館は16:30まで
大阪市立美術館
(天王寺区茶臼山町1-82)
観覧料: 大人**1,100円**/高・大学生
900円※割引券使用時

大阪は日本の政治的中心地や諸外国との窓口位置し古くは豊臣秀吉などの天下人や豪商たちが「事・物」の集積を担い、近現代になると経済界の人々が多様なく数寄の道に足を踏み入れ、大きなコレクションが形成されてきました。秀吉や財界人を魅了した名品の数々、国宝・重文を一挙に公開しました。

【主催】特別展「再発見! 大阪の至宝」実行委員会

企画者からのコメント

本展は、大阪市の美術館や博物館が所蔵する主要な美術コレクションと、大阪を発祥とする私立美術館の代表的作品や、大阪市立の美術館の寄託の国宝や重要文化財等を一堂に展覧する名品展でした。ご来館いただいた皆様には、大阪のお宝を再発見していただけたのではないかと思います。なお、ご来館いただけなかった要因としては、多彩なジャンルであったため、各ジャンルごとの作品数に物足りなさがあったのかと思われます。



42



上町台地タイムトリップ 2013



①**11/30(土)・12/1(日)**
②**12/5(木)～12/7(土)**
①②共に**10:00～17:00**
①高津宮社務所(中央区高津1-1-29) ②峯風庵(中央区南新町2-2-11都住創中大江)

上町台地の町並や自然、生活風景に関する古写真を展示するとともに、古写真に写った場所を探したずねるフリーガイドツアー等を行いました。上町台地の古写真も募集をしました。古写真を通じて扉を開き、昭和にタイムトリップしながら上町台地の魅力を探しました。

【企画】住みよいまち&絆研究所

企画者からのコメント

多くの方に来ていただき、大変感謝しています。昨年よりも牧村史陽さんのコレクションを約30枚追加させていただき、展示としては充実して来たと思います。フリーツアー用に作成した「メモリ帖」もなかなか好評でした。今回は古写真の募集から行いましたが、広報だけではなかなか集まりませんでした。上町台地のエリアが広いので、エリアをもう少し絞って各地域ごとで古写真サロンを行うなどして、まちづくり団体の方々とも密にした活動が今後必要かと思います。今後につなげていきます。





11/29(金)～12/8(日)
上町台地
<http://mylifemap.web.fc2.com/>

上町台地とその周りに住む/働く人、それぞれの日常や記憶、そして愛着を地図インタビューにより浮かび上がらせました。場所はその人の記憶を保存します。ひとりの日常や記憶を重ねていくことで、その価値を改めて認識し、また違った町の風景が見えてくることになるでしょう。

〔企画〕サトウアヤコ

企画者からのコメント

上町台地に住む人、働く人8人に、「よく行くところ、よく歩く道、よく行くエリア」を地図を描いていただきながら、日常生活や思い出、生活圏や愛着のある場所についてのインタビューをし、webサイトに掲載しました。

繰り返し同じ道や場所が登場し、上町台地での日常生活の中で意味を持つところであることがわかります。大阪市内に引っ越しを検討されている方の参考にもしていただいたようです。住んでいる人の日常や記憶を通して街を見ることが、場所の力を実感する手段の一つとなればと思います。



11/29(金)～12/8(日)
上町台地
<http://1hourtrip.web.fc2.com/>

遠くに行かなくても、日常を少しだけずらすことで、異なる風景が見えてきます。上町台地に住む/働く人が、旅行者として、「旅」をします。「日常記憶地図」
<http://mylifemap.web.fc2.com/>と合わせて、上町台地の上で「日常」と「旅」がクロスする様子をご覧ください。

〔企画〕一時間旅行

企画者からのコメント

「日常記憶地図」では、上町台地上の生活圏の外は未知の領域であるということがわかり、時間や空間を意識的に少しだけずらすことで、生活圏内やすぐ近くでも「旅」や発見が可能ではないかということを提案しました。

実際に、上町台地に住み/働く人に「旅」をしてもらい、その旅行記と地図をweb上で展示しています。地図をダウンロードし、追体験することも可能です。見慣れた街の見方を変える手段の一つになればと思います。



12/8(日)17:30～19:00
受付開始17:00
玉造稻荷神社
(中央区玉造2-3-8)
定員:50名/要申込

オープン台地10日間・45プログラムを企画者と参加者でふりかえります。ゲストスピーカーも交えてのトークセッションも！オープン台地の率直な感想をお聞かせください。

ゲスト:笹尾 和宏

〔企画〕上町台地マイルドHOPEゾーン協議会

企画者からのコメント

まず、ゲストの笹尾氏から各プログラムに参加した感想など簡単な報告がありました。そのあとは参加者が順にマイクを握るかたちで、プログラムの実施・参加報告をしていただきました。企画への思いや意図・当日の様子などについて詳しくお話しいただき、プログラムに参加できなかった人も含め広く共有を図ることができました。最後に、オープン台地への参加を通じて得られた今後の展望についてゲストの笹尾氏から発表があり、会はお開きとなりました。



ゲストからのコメント

今回、クロージングトークへの参加がきっかけで、結果的に全45プログラム中23のプログラムに参加することができました。そのプログラムはひとつひとつがどれも個性的で上町台地に今あるものを活かしていて、パンフレットにプログラムが並んでいる様が、上町台地の多様な営みそのものを示しているようでした。また、企画者やまち歩きでの訪問先など、プログラムの実施場所を普段から管理されている地域の方から直接お話をお聞きできた点も魅力的に感じました。まちづくりイベントにはよく参加するのですが、オープン台地は、新たに上町台地に興味を持って魅力を感じてもらうという目的のもと「上町台地」というキーワード以外で参加者を広く呼びかけられていて、他になかなか真似のできないイベントだと感じています。一方で、イベントとして伝えたい上町台地の魅力と各プログラムとの結びつきが伝わりにくい点も実感としてありました。今後、プログラムごとの特色を出して広く参加者を募り、プログラム参加後の帰り道には上町台地の魅力を意識してもらえるよう工夫することで、上町台地のファンがより増えればと思います。

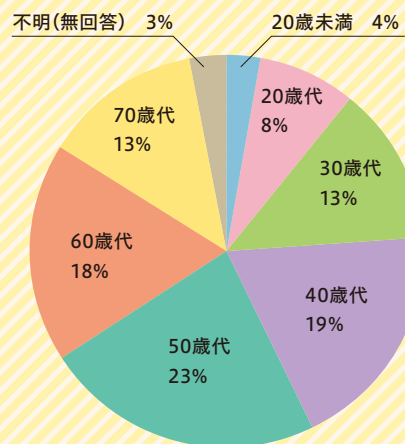
笹尾和宏



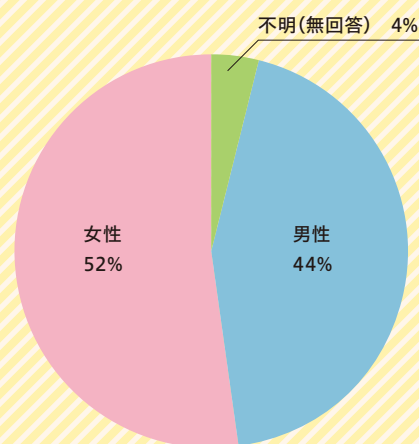
オープン台地 vol.4 参加者アンケート①

参加者属性について、年齢・男女比・居住地ともに偏りが少なく、多様な方にご参加いただきました。年齢別では40～60歳代が中心ではありますが、20～30歳代も合わせて2割程度見られます。ただし、20歳未満4%と子ども向けのプログラムが少なかったことが如実に現われています。

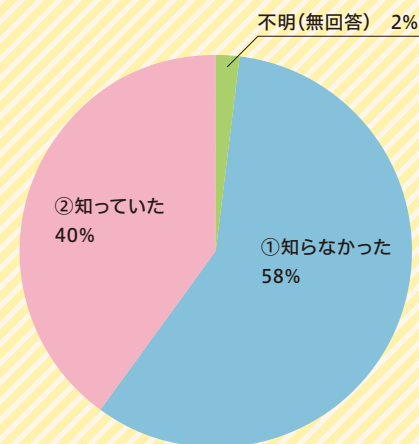
設問1 あなたの年齢は？



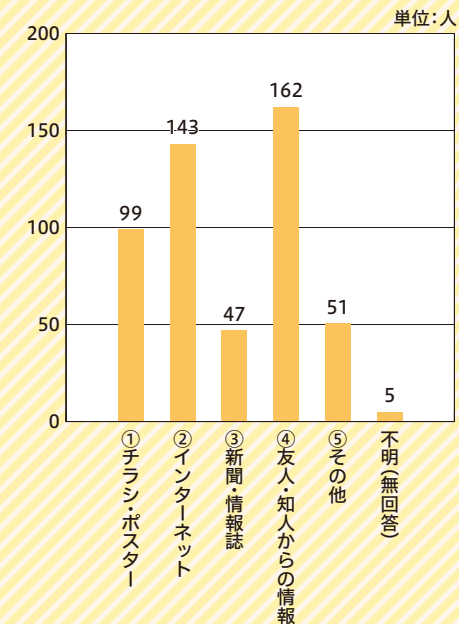
設問2 あなたの性別は？



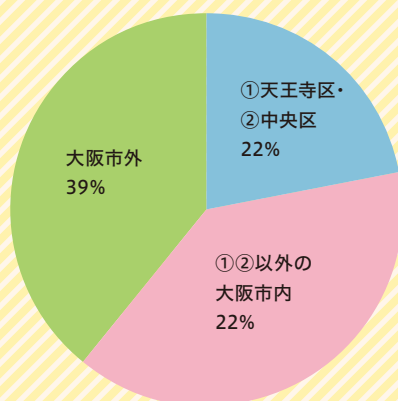
設問5 オープン台地について 以前からご存知でしたか？



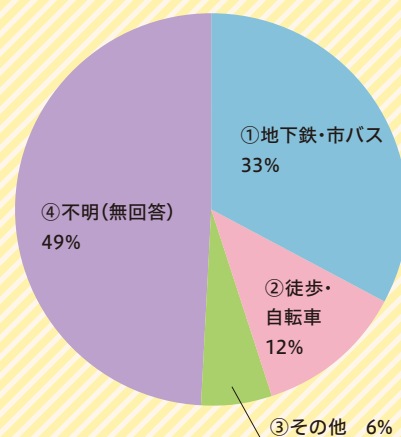
設問6 オープン台地について 何でお知りになりましたか？



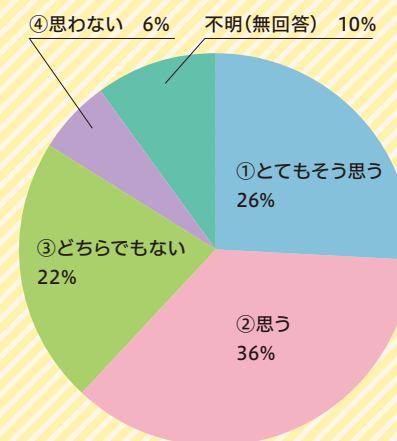
設問3 現在どちらに お住まいですか？



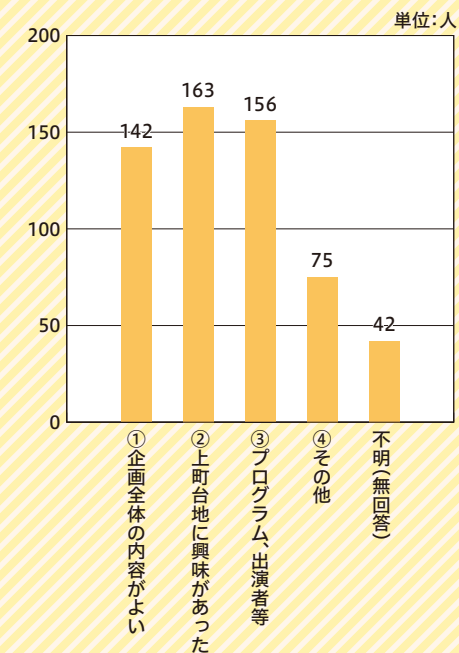
設問4 上町台地へはどんな 交通手段で来られましたか？



設問7 上町台地に住みたい (住み続けたい)と思いますか？



設問8 どのような理由でオープン台地 にご参加いただきましたか？



オープン台地 vol.4 参加者アンケート②

上町台地の魅力が、多様な要素で構成されていることがわかります。「歴史文化」や「史跡遺産」といった単体の資源よりも「新旧多様性」や「場所」といった項目が多く挙げられています。「落ち着いたまち」といったエリア全体のイメージや「寺町周辺の町並みと傾斜地の緑」といった複合的な要素を挙げる回答が多く見られました。

中でも七坂を中心とした坂や地形に関する記述が多く、台地としての魅力が来訪者にも十分伝わっていることがわかります。

まちなみ

- ▶ 昔の面影を残したまちなみ
- ▶ 景観が整っていて非常にきれい

坂・地形

- ▶ 高低差に富む景色の変化が楽しめる
- ▶ 地盤が強く、歴史があり今後も発展しそう
- ▶ 石畳と坂
- ▶ 大阪最古の土地

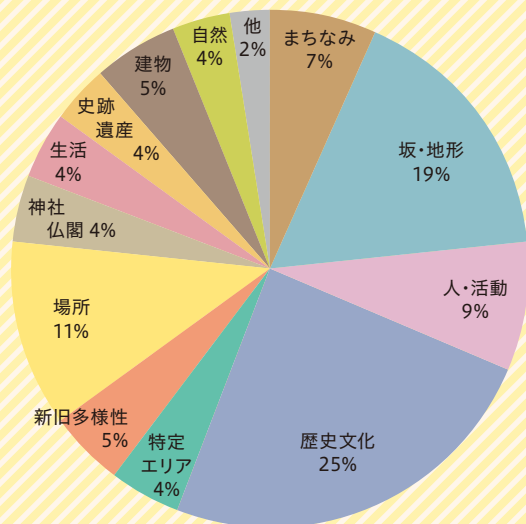
人・活動

- ▶ 地元の人々が愛着を持っているところ
- ▶ 魅力的な人々とその活動が多いこと
- ▶ 仕事している人と住んでいる人のバランスが程よく快適

歴史文化

- ▶ 大阪の文化の発祥、文化の集積
- ▶ 現代に生きる歴史文化
- ▶ 町のあちこちに散在する歴史
- ▶ 上方文化の中心

ご参加のみなさまに上町台地の魅力についてアンケートを実施しました。ここではその結果の一部をご紹介します。



特定エリア

- ▶ 空堀のにぎやかな商店街
- ▶ 七坂・寺町

新旧多様性

- ▶ 古いものと新しいものがまじりあい生活がまちにとけこんでいる
- ▶ 歴史的建造物と庶民的な街が共存している

場所

- ▶ 大阪市内で有数の閑静な住宅・文教地区
- ▶ 大阪の古代、近代、現代の魅力をほっこりしっとり味わえる
- ▶ 落ち着いたところ
- ▶ 昭和の歴史と香りが感じられる

神社仏閣

- ▶ 四天王寺
- ▶ お寺、古い街が残っている

生活

- ▶ まちとして発展している所、活力がわいてきている所
- ▶ 住む、働く、遊べる街が出来るところ
- ▶ 職住近接
- ▶ 利便性

史跡遺産

- ▶ 歴史に名が上がる名所旧跡が多くあり、良い所です

建物

- ▶ 大阪城
- ▶ 古い町家
- ▶ 近代建築

自然

- ▶ 大阪の中で緑の多いこと

他多数の魅力が挙げられています。

オープン台地にご参加いただいたみなさまにご意見・ご感想、またご要望やご提案をいただきました。ここではその結果の一部をご紹介します。

【ご意見・ご感想】

- 清寿院、いつも前を通りながら木の門、レンガ塀を横目で見えていました。身近にあるものを知ることはいれいです。
- この近くに住居を構えていますが、いつかの地に住みたいです。
- 大阪に生まれ育った人間として、上町台地の歴史を知ってたくさんの魅力を若い人達に伝承していきたいと思ひます。
- 意外と静かな落ち着いた街。あちらこちらでイベントされているみたいで、また寄ってみたいです。
- チェーン店系のお店にはない個性的な店が集まり、とても楽しかったです。
- タンデムで道を走って、最高でした。また乗りたいです。
- 貴重な時間をありがとうございました。大阪市は近年たくさんのイベントを企画されていること、うれいれいです。

【ご要望・ご提案】

- 上町台地が半島だった時の地理をめぐる、難波宮のことをもっと知りたいです
- 上町台地そのもの、つまり地学的なアプローチも面白いのでは。学校・病院などもとりあげてほしいです
- 大阪砲兵工場の関連っぽいものが大手門にいく途中であって気になるので見たい
- 小さい子から参加できるイベント、若い女性の方が参加できるイベントを希望します
- きれいな所や自然も多いのでそれらを活かした花見とか楽しそうです
- 上町台地の変遷など地域を知ることができると内容のイベントがあれば良いと思う
- 大阪の神様にちなんだ史跡巡り
- 来年も続けてもらいたい

主催者より

今回も無事にオープン台地を終えることができました。ご参加、ご尽力いただいた皆さまに心からお礼申し上げます。新しいプログラムも加わり、上町台地の厚みをまたひとつ紹介できたのではないかと思います。大阪城を眺め、四天王寺や一心寺を代表に大阪の鼻筋を彩る寺町と神社。それに寄り添うように戦火を免れた下町や閑静な住宅街。マンションやオフィスビルなど、建物を見るだけでも歴史の積み重ねを感じます。そして、このような場所で日常(住む／働く／遊ぶ)を過ごす人たちが企画したプログラムはどれもが人の温かさや手ざわりを感じるものでした。

上町台地のことを書いた好きな小説に「都市の場合、古くからそこにいたことは、少しも自慢にならない。この都市で、どういふ志をとげようとするかが、課題なのである」とあります。全文を書かないと誤解を生むかもしれませんが、先人がつくりあげてきたものを今後どのように引き継いでいくかは、その時代にいる人が担う大きな役割です。

これからのオープン台地が、まちのもつ多様性や歴史を伝える一助となり、そして楽しいお祭りになるよう、多くの人と一緒につくりあげていきたいと思ひます。

釜中 悠至